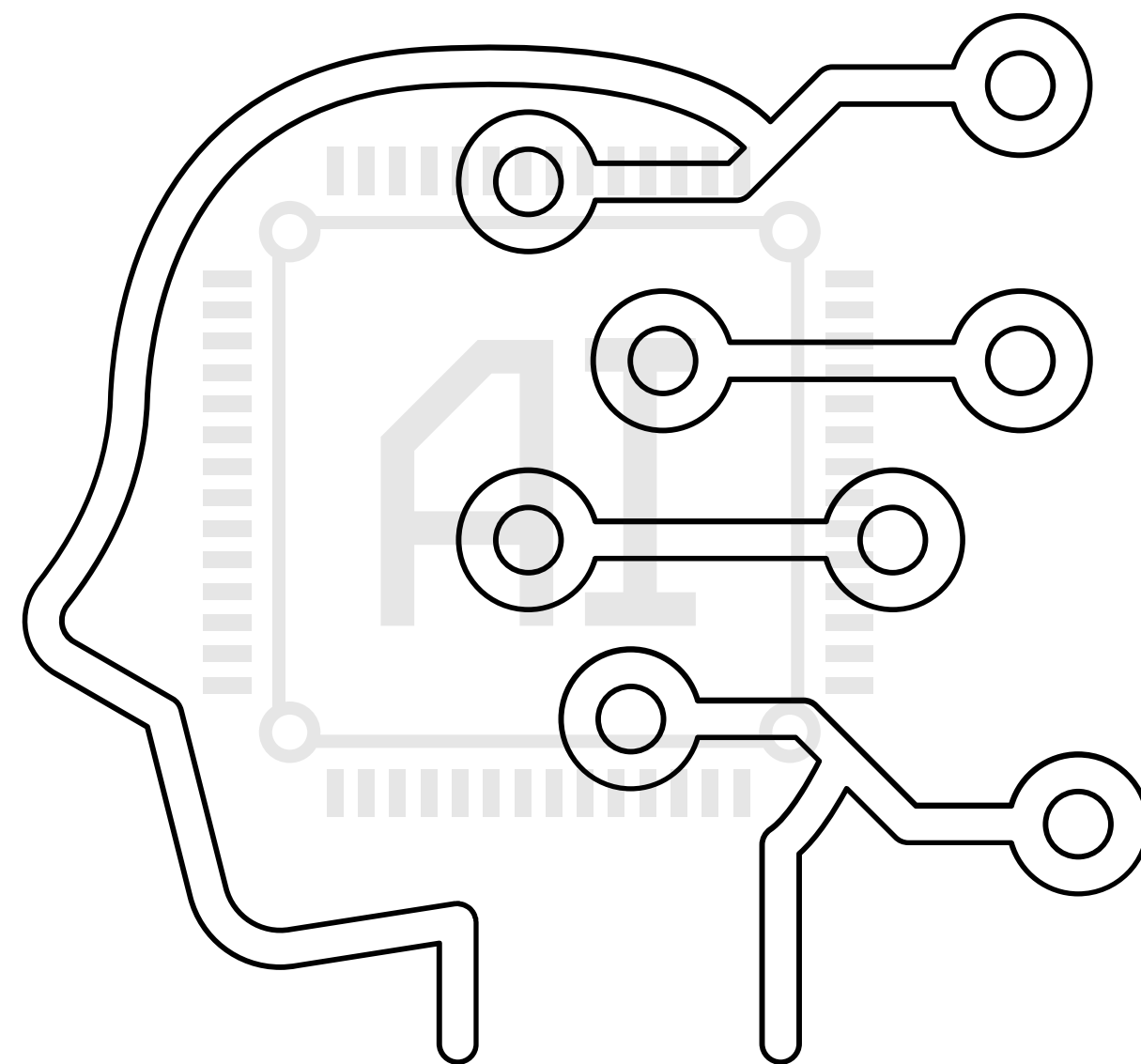


校務DX

生成AI活用ガイド

四日市市教育委員会

令和7年3月



コンテンツ一覧

- 01 はじめに
- 02 生成AIとは？
- 03 生成AI活用のメリット
- 04 生成AI活用の留意点
- 05 生成AI導入手順
- 06 校務における具体的な活用例
- 07 プロンプトの作成ポイント
- 08 校務DXに活用できるプロンプト例



01 はじめに

生成AIは、多様なコンテンツを生成する技術であり、校務においても、業務効率化や質の向上に貢献することができます。

本ガイドは、生成AIの基本的な活用方法から具体的な活用例、留意点までを解説し、学校現場での校務DX推進を支援することを目的として作成しました。

02 生成AIとは？

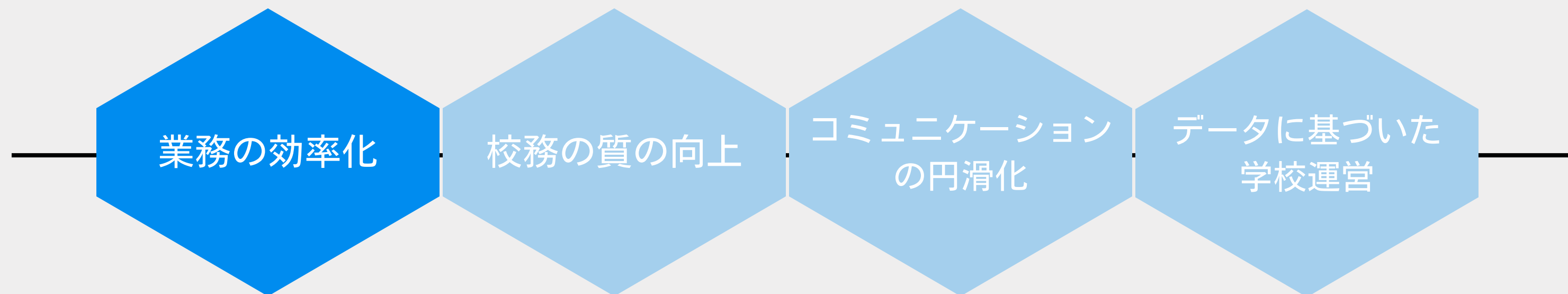
生成AI

大量のデータから学習し、新しいテキスト、画像、音声、プログラムコードなどを生成することができます。

校務においては、文書作成、データ分析、翻訳などに活用できます。



03 生成AI活用のメリット



文書作成の自動化

議事録や連絡などのキーワードを入力するだけで、必要な情報を盛り込んだ文書の作成を自動化できます。

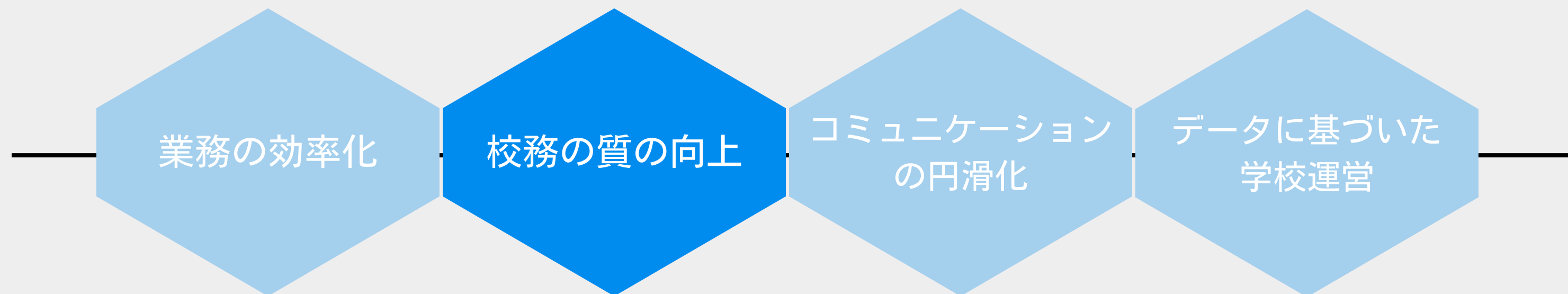
データ入力の自動化

画像データなどを読み取ることで、文字やデータ入力を自動化できます。

情報収集の効率化

最新の教育動向、先進的な取組事例、教育関連法規などの必要な情報を迅速に収集できます。

03 生成AI活用のメリット



教材作成

ワークシートやテスト問題など、学習スタイルや難易度に合わせた教材作成を支援します。

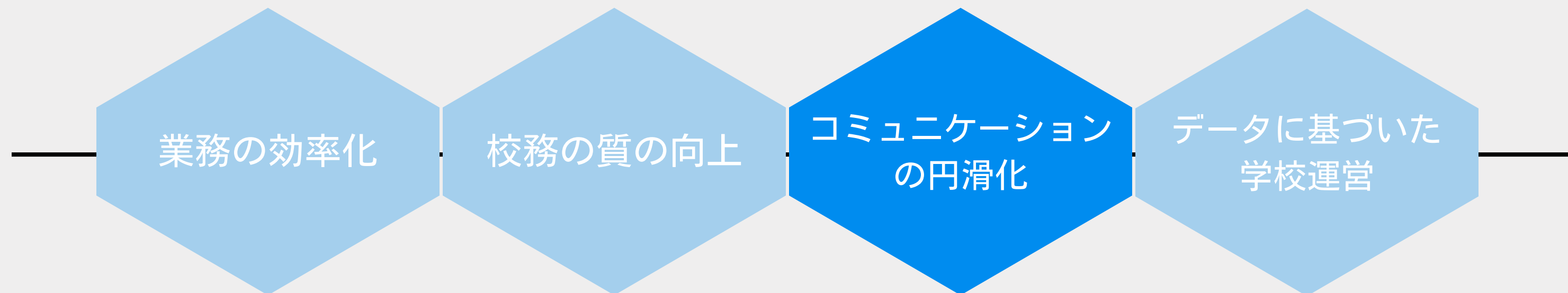
多言語対応

多言語翻訳機能で、学級通信や緊急連絡などを翻訳することで、円滑なコミュニケーションを図ることができます。

個別ニーズに合わせた 情報提供

個々の児童生徒の学習状況や興味関心に合わせて個別指導資料や学習計画を作成できます。

03 生成AI活用のメリット



保護者への情報提供

学校行事の変更や緊急連絡など、様々なコミュニケーション手段に対応した文面を作成し、迅速に伝えることができます。

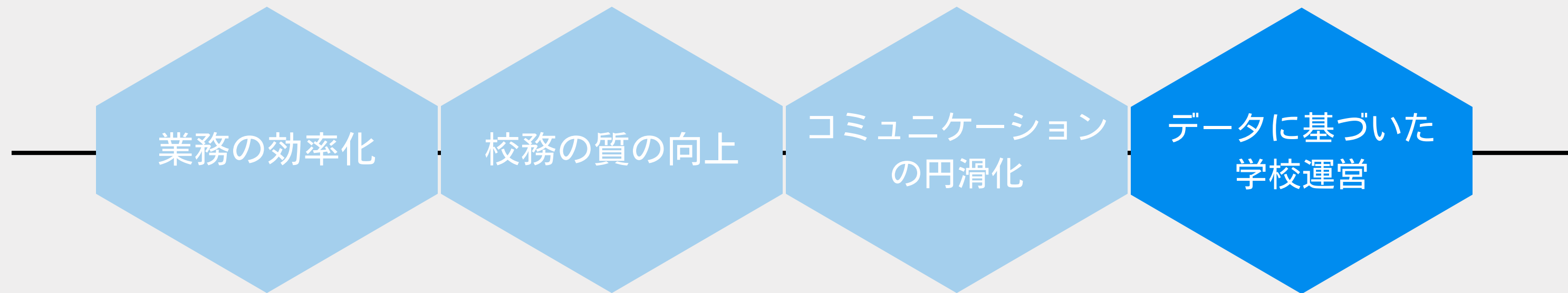
FAQの作成

よくある質問に対する回答を自動生成することで、問い合わせ対応の負担を軽減できます。

地域への情報発信

学校行事の案内、地域貢献活動の報告などを分かりやすく発信できます。

03 生成AI活用のメリット



現状把握

児童生徒の学習状況、教職員の勤務状況、学校予算の執行状況などをデータに基づいて客観的に把握できます。

課題の設定

データ分析結果から、学校運営上の課題を明確に特定できます。

効率的な対策の実施

データに基づいて効果的な対策を立案・実施できます。

PDCAサイクルの確立

データ分析結果を基に、学校運営の改善策を検討し、PDCAサイクルを確立することで、継続的な学校改善ができます。

04 生成AI活用の留意点



生成されたコンテンツが正確で適切か確認する必要があります。
また、プライバシーにも十分注意する必要があります。

- 情報セキュリティ**
基本的に個人情報や機密情報については活用しない
- 情報モラル**
不適切な情報の入力や生成物の無断公開などを避ける
- 誤情報・偽情報への対応**
生成された情報の真偽を確かめる習慣を身につける
- 著作権・肖像権等の尊重**
生成された情報が、既存の著作権や肖像権を侵害していないか確認する
- 過度の依存の回避**
あくまでも思考や判断、コミュニケーションする際の、補助支援的な活用とする

05 校務への生成AI導入手順

生成AIの活用は校務DXを推進させ、教職員の負担軽減と教育の質の向上に大きく貢献する可能性があります。

導入手順

① 教員研修の実施

生成AIに関する基礎知識、活用方法、注意点などを学ぶ

② 試行的な導入

特定の業務で試行的に導入し、効果や課題を検証する

③ 評価と改善

導入効果を評価し、必要に応じて改善策を検討する

④ 情報共有

効果的な活用事例やノウハウを校内で共有する

06 校務における具体的な活用例

活用例

- ✔ **文書作成** 報告書、会議資料、スピーチ原稿、学校行事の企画書など
- ✔ **データ分析** アンケート結果、出席状況などの分析・可視化
- ✔ **翻訳** 多言語対応の文書作成、コミュニケーション支援
- ✔ **情報収集** 最新の教育情報、研究資料、先進的な事例などの収集
- ✔ **教材作成** ワークシート、テスト問題、プレゼンテーション資料など
- ✔ **ホームページ作成** 学校ホームページのコンテンツ作成、更新作業の効率化

07 プロンプトの作成ポイント

生成AIは、プロンプトと呼ばれる「指示文」を明確にすることが重要です。望むことをAIに詳細な指示で伝えることにより、期待に近い結果を得ることが出来ます。

① 目的を明確にする

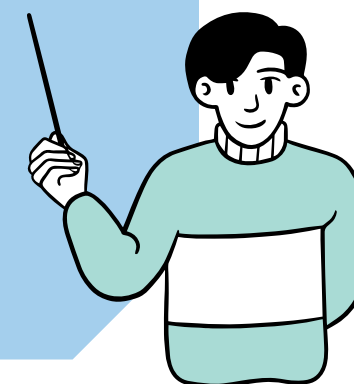
② 具体例で詳細な指示を出す

③ 質問を分解する

④ 適切なキーワードを選ぶ

⑤ 試行錯誤を繰り返す

- 何を作りたいのか？（例: 小学校3年生向けの国語のテスト問題、保護者向けのイベント案内メール）
- 何を知りたいのか？（例: 日本の少子化対策の現状、ある歴史的人物の功績と影響）
- 何をしてほしいのか？（例: この文章を要約して、箇条書きにして）



07 プロンプトの作成ポイント

具体的な指示を出すことで、生成AIはこちらの意図をより正確に理解し、より質の高いアウトプットを生成することができます。

① 目的を明確にする

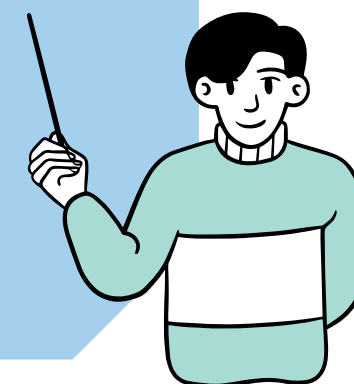
② 具体例で詳細な指示を出す

③ 質問を分解する

④ 適切なキーワードを選ぶ

⑤ 試行錯誤を繰り返す

- 出力形式を指定する（「箇条書きで」、「500字程度で」など）
- 条件を追加する（「〇〇というキーワードを含めて」、「〇〇の視点から」など）
- 例を示す（「〇〇のような感じで」など）
- 役割を設定する（「あなたは〇〇の専門家です」、「あなたは〇〇の立場です」など）
- 望まない内容を明示する（「〇〇は含めないで」、「〇〇は避けて」など）



07 プロンプトの作成ポイント

質問を分解することで、AIは各質問に集中して回答を生成できるため、全体としてより詳細で整理された情報が得られます。

① 目的を明確にする

② 具体例で詳細な指示を出す

③ 質問を分解する

④ 適切なキーワードを選ぶ

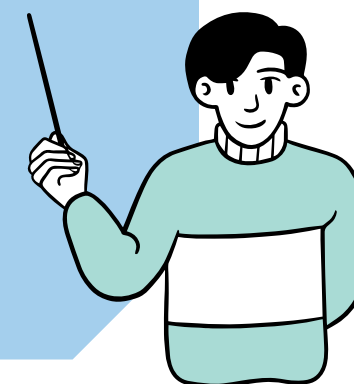
⑤ 試行錯誤を繰り返す

【複雑な質問例】

中学校の体育の授業で、バスケットボールの指導方法を教えてほしい。

【分解した質問例】

1. 中学校でバスケットボールを指導する際、どのような点に注意すべきか？
2. バスケットボールの基本的なスキルを指導する上でのポイントを教えてほしい。
3. 授業時間を50分として、バスケットボールの授業の指導案を1つ作成したい。



07 プロンプトの作成ポイント

キーワードを具体的にすることで、AIはより関連性の高い情報を検索し、より実践的な提案を作成することができます。

① 目的を明確にする

② 具体例で詳細な指示を出す

③ 質問を分解する

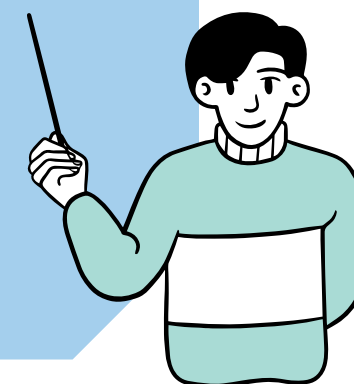
④ 適切なキーワードを選ぶ

⑤ 試行錯誤を繰り返す

小学校4年生の国語の授業で、詩の朗読を通して児童の表現力を高めるための授業案を考えたい場合。

【漠然としたキーワード】
「授業」

【具体的なキーワード】
「小学校4年生、国語、詩、朗読、表現力、グループワーク、ICT活用、...」



07 プロンプトの作成ポイント

最初のプロンプトでは、どのようなことをしてほしいのかAIには伝わらないことがある。具体的な情報を追加することで、意図に沿ったものを作成することができます。

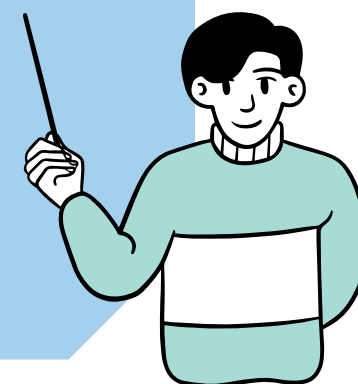
- ① 目的を明確にする
- ② 具体例で詳細な指示を出す
- ③ 質問を分解する
- ④ 適切なキーワードを選ぶ
- ⑤ 試行錯誤を繰り返す

【最初のプロンプト】

小学校5年生の算数のテスト問題を作ってほしい。

【追加したプロンプト】

テスト問題を3問作成してほしい。出題範囲は「割合」で、文章問題を2問、計算問題を1問含めて。難易度は標準レベルで、解答と解説もつけてほしい。



08 校務DXに活用できるプロンプト例

生成AIツールに入力するプロンプトの例です。目的に合わせて適宜修正しながら活用してください。

【文書作成】



- ① 「〇〇小学校の運動会について、保護者向けの案内状を作成してください。開催日時、場所、持ち物、プログラムなどを含めてください。」
- ② 「来年度の学校づくりビジョンを作成してください。重点目標、具体的な取り組み、評価方法などを含めてください。」
- ③ 「〇〇中学校の卒業式式辞を文章校正してください。」
- ④ 「授業参観の案内文を作成してください。日時、場所、持ち物、注意事項などを含めてください。」
- ⑤ 「PTA総会の議事録を作成してください。議題、発言内容、決定事項などを含めてください。」

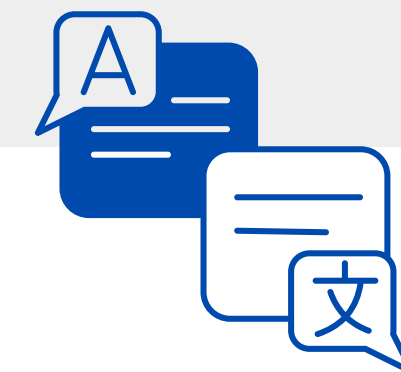
08 校務DXに活用できるプロンプト例

【データ分析】



- ① 「この生徒の成績データから、得意科目と苦手科目を分析してください。」
- ② 「このアンケート結果から、生徒の学校生活に対する満足度を分析してください。」
- ③ 「過去の出席状況データから、欠席が多い生徒の特徴を分析してください。」

【翻訳】

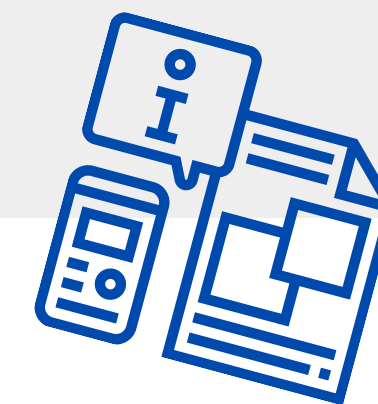


- ① 「この文書を英語に翻訳してください。」
- ② 「この案内文を中国語に翻訳してください。」

08 校務DXに活用できるプロンプト例

【情報収集】

- ① 「最新のプログラミング教育に関する情報を収集してください。」
- ② 「小学校におけるICT活用の効果的な事例を調べてください。」
- ③ 「不登校支援に関する最新の研究動向を調べてください。」



【その他】

- ① 「小学校高学年向けに、夏休みの自由研究のテーマを10個提案してください。」
- ② 「中学校の生徒会活動で取り組むことができるSDGs関連の企画を5つ提案してください。」
- ③ 「中学校のキャリア教育で活用できるワークシートを作成してください。」

学校で活用可能な研修教材等



生成AI はじめの一步
～生成AI の入門的な使い方と注意点～
(総務省)



https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/generativeai/



生成AI に関する教員向け研修動画シリーズ
(文部科学省 令和5年9月)



<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbBrnCw5laIIY282l7oCdsh>

【参考】

**初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン Ver.2.0
(文部科学省 令和6 年12月26日)**

